



人同協だより

2017（平成29）年1月27日 発行 常磐地区人権・同和教育推進協議会

1. 第68回全国人権・同和教育研究（全同教）大会に参加して

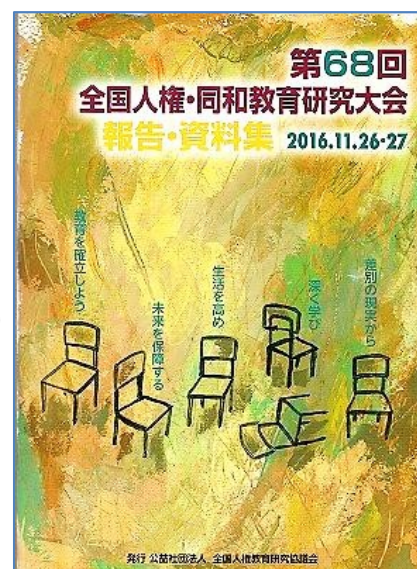
四日市市「人権学習支援事業」を活用して、第68回全同教大会「分科会」に参加したので報告します。

大会は11月26日～27日の両日、大阪で開催されました。

本年度は、熊本で開催予定のところ震災のため、「全体会」は中止となり「分科会」のみの開催でした。

今回は第4分科会テーマ「人権確立をめざすまちづくり」から、**奈良県「人権教育の弱点を克服するために」** 三重県「同和地区に生まれて39年」 徳島県「吉野川市 性的マイノリティ（LGBT）支援事業」の3本を受講しました。〔LGBT：レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシャル（両性愛者）、トランスジェンダー（性別に違和感がある人等）の英文頭文字〕

報告資料集（総頁数 287 頁）



<実践報告より>

3本受講の内、**奈良県の発表**について下記にまとめました。

奈良市人推協・古市歴史研究会のテーマ「人権教育の弱点を克服するために」は、人権教育をどう効果的に進めるかについて、人権のフィールドワークにより「人権ゆかりの地めぐり～ぶらり散歩～」を提唱し実践している報告でした。この要点は3つ、

1) **問題意識**、『これまでの人権教育・啓発の持つ弱点は、難しい用語、理屈の先行、固い、暗い、などが人権教育のイメージになってしまったのではないか』

2) **そこで、フィールドワークを歴史的スポットとして捉え**、『歴史は多くの教訓を含んだ大切な資産、地域の歴史を検証すると、人々が互いに助け合いながら、暮らしの質を高め、豊かな文化を創り出して来た様子確かめることが出来る』ということを念頭において・・・。

3) **提唱している「人権ゆかりの地めぐり～ぶらり散歩～」**は、『単に物知りをつくるのではなく、人権課題の解消に繋がるものとし、地域の風土にみる価値、歴史的な価値、文化的な価値、人の営みにみる価値、などを発見することからはじまり、そこに暮らす人々の地域への愛着と誇りを育む手がかりとなるものでなければならない』でした。

常磐地区は「水と緑と文化のマップ」、「赤堀人権のまちづくり ふれあいマップ」等、フィールドワークに使えるマップが刊行されていますが、この機会に奈良市「人権ゆかりの地めぐり」を体験学習したいと思いました。



会場：関西大学千里山キャンパス入口看板



P1 関西大学千里山キャンパス第4分科会第4分散会場

2. 「じんけんフェスタ2016」に出展しました。

じんけんフェスタ 2016

日時 **12月4日(日)**
9:30~16:15

場所 **四日市市文化会館**
四日市市安島2丁目5番3号

入場無料 申込不要

人権週間記念講演会
14:00~ 13:00~先着順、自由席です。
「ひとつひとつ、少しずつ。
~自分らしく歩む道~」
プロフェッショナルアスケーター 鈴木 明子さん

子ども向けイベント
絵画コンクール
クイズラリー

中庭フードコーナー

お問い合わせ先 四日市市人権センター
☎059-354-8609 Fax.059-354-8811
e-mail:jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp

この行事は、毎年12月10日の『世界人権デー』を最終日とする1週間を人権週間と定め、人権尊重思想の普及高揚のために啓発活動を全国的に展開している一環となるものです。

今年度も12月4日(日)「じんけんフェスタ2016」が、四日市市文化会館にて開催されました。(左図の新聞広告切り抜き参照)

常磐地区人同協は、四日市市人権センターの呼びかけに応じ、はじめて人権啓発活動の取り組みを中心とした展示物などを「人権のひろば」コーナーに出展しました。



写真左上から「人同協だより」「人権標語入選作品」及び下段の「御池沼沢の植物写真集」の展示と共に、絵本「あの子」の読み聞かせにより、噂(うわさ)の拡がりなどを話し合いました。

= 「人権のひろば」出展内容 = (写真右上)

常磐地区人同協の取り組み

スローガン～あたたかなところと行動～

常磐のまちパノラマ(写真)展示

「人同協だより」1号・2号(拡大版)展示

平成28年度人権標語入選作品の展示

絵本「あの子」の読み聞かせ

特別展示「御池沼沢の植物」(写真集)



今回は常磐まつり(11月6日)に開催した内容と、ほぼ同じ展示物を出展しました。

展示した各地区の人権啓発団体は、常磐、県、日永、神前、水沢、保々、楠、桜、河原田、大谷台の10団体でした。各地区の団体と交流ができると思って、「人同協だより」を増刷りし、期待して参加したのですが、桜地区を除く各団体は展示のみで、その場に出展できず残念でした。しかし、各地区の展示物はそれぞれ工夫されていて、見応えがありました。中でも「人権標語」と「イラスト付き人権メッセージ」(写真左)が併設展示されている団体があり、大変良いと思いました。

3. 人権啓発標語入賞者の表彰と人権講演会を開催しました。



1) 人権標語入賞者の表彰

12月10日(土)常磐地区市民センター2F大会議室において、平成28年度常磐地区人権啓発標語入賞者の表彰を行いました。今回は、常磐西小学校の部で優劣つけがたく**「佳作」を2点としました。

また、常磐小学校の部の*「最優秀賞」作品は、グッズ「手提げ紙バック」側面に印刷し、人権啓発に一役立たせていただくことにしました。(写真下)

～人権啓発標語入賞作品～

常磐小学校の部

- *【最優秀賞】 「それもいい」 違いも認める 君とぼく
- 【優秀賞】 大丈夫 その一言で 救われる
- 【佳作】 あいさつは ところをつなぐ あいことば

常磐西小学校の部

- 【最優秀賞】 声かけは 一人ぼっちに 効く薬
- 【優秀賞】 わかちあい 心と心 つながろう
- **【佳作】 優しさは 人と人をつなぐ糸
- **【佳作】 感じとろう 人の心の奥深く

常磐中学校の部

- 【最優秀賞】 考えよう 軽い一言 その重み
- 【優秀賞】 言う前に 心と相談 その言葉
- 【佳作】 心の手 つながり合えば 大きな輪

一般の部

- 【最優秀賞】 あいさつは 笑顔になれる 合い言葉
- 【優秀賞】 どこまでも 大きく羽ばたけ 常磐の子
- 【佳作】 小さな手 小さな勇気が 宝物

(敬称略)

原 佑成
山崎 ヒカル
原 凜

大久保 美伶
西村 未来
佐々木 彪雅
大津 勇翔

中住 千桜
大島 隆星
田中 淋奈

伊達 真理子
五味 吉明
川村 智子



2) 人権講演会 ～自分が変われば出会いも変わる～



12月10日(土)常磐地区人権啓発標語入賞者の表彰終了後に引き続いて、上方落語家『露の団姫(つゆのまるこ)さん』を招いて人権講演会を開催しました。

主催：常磐地区人同協 共催：四日市市西南ブロック人同協と常磐地区市民センター、参加者約160名満席大盛況でした。

内容は、露の団姫さんの落語、夫の豊来家大治郎さん大神楽曲芸、その後、ご二人で「人権講演会」の3本立てでした。

人権講演テーマ『自分を変えるためには、心のドアを開いて一歩踏み出さなければ何も進まない』爆笑連続の中にもキラリと光る教えがあり有意義なひとときでした。



4. 四日市市人権・同和教育研究会（四同研）課題別学習会開催される。

1月15日（日）第7回四同研 主催の課題別学習会が、四日市市文化会館で開催されました。

この日、四日市地方は20数年ぶりの大雪にも関わらず、たくさんの参加がありました。

課題別学習会は、昨年8月に開催の四同研大会に参加した各校園・地域・団体からの報告をもとにして、その学びを更に深め合うため毎年1月に開かれます。

今回の課題別テーマは 「部落問題」 「子どもの人権」 「性的少数者の人権」 「人権のまちづくり」で、これを4分科会に分散して参加者自身が選択する ~ の講演を聞きその後、分科会毎に意見交流を行いました。

また、午後からは昨年11月に開催された本号巻頭記事の全同教大会報告集会が開催されました。



報告集会で発表する鈴木茂見さん



5. 2月の事業計画から「教育講座・2月22日（水）開催」ご案内

常磐地区小中学校・保育園・幼稚園における人権教育の取り組みを毎年1回、各校園が持ち回りで発表し合っています。

子どもたちが、学校や園で人権をどのように学び、育っているかを知ることができる絶好の機会ですので、是非参加してください。

- ・開催日時：平成29年2月22日（水）19:00～20:30
- ・開催場所：常磐地区市民センター2階 大会議室
- ・発表者：ときわ保育園保育士
- ・内 容：ときわ保育園での人権教育の取り組みの発表



6. 人権のオアシスひろば（読者の寄稿から）～私と人権～ （五味 吉明）

私の人同協との出会いは、5年前に自治会を通じて知りました。そもそもどのような活動をしているのかも知らないまま、自分自身のためにと積極的に勉強会、講演会、研修会などに参加してきました。しかし、年月を経て「人権」の知識は増えてきましたが、人権は奥が深く、まだまだ道半ばです。ただ、差別や偏見に対して、ダメだということを声に出すことができるようになりました。また、無知が故に自分の言動が差別につながっていたということにも気づかされ大いに反省したこともあります。

三重県人権センターでの味岡先生との出会いに始まり、多くの人と出会いを重ね、色々なことに気づかされました。人同協に関わることが出来て、見えなかったものが沢山見えてきたような気がします。「人権」というと引いてしまう人も多くいますが、私は生きていく上で「人権」にしっかりと向かい合うことが、大事だと考えをもち続けていきたいと強く思っています。

編集後記 平成28年度「人同協だより」3号をお届けします。

本号は、11月～1月まで3か月間の事業活動報告を中心として編集しました。2号巻頭で紹介した「地区懇談会」は7月23日を皮切りに11月20日まで各ブロック16会場で416名の自治会員の方々の参加をいただき、熱心に人権問題 取り組みについて討議をしていただきました。このアンケートを取っていただいた自治会も多数あり、別途、広報部でとりまとめたいと考えています。